

# 令和3年度決算審査評価事業 調査報告書

( 都市経済分科会 No.1 )

(所属課, 事業コード) 事業名	( 商工観光課 : 5587 ) 広域観光対策事業 ※P. 130	
予算額	令和3年度決算額	27,228千円
	令和4年度予算額	5,567千円
	令和5年度予算額(案)	6,881千円
<p><b>【決算審査における検討点, 争点】</b></p> <p>広域的に取り組んでいる東国水郷観光推進協議会事業は、東国三社を中心に人気があり観光客が本市を訪れている。</p> <p>地域おこし協力隊のOBが市内で起業して定着できるよう、市のバックアップがもっと必要ではないか。</p> <p>今後は、インバウンドも含めさらに広域的な取り組みを強化して、観光客の誘客に向けた事業展開を期待する。</p> <p style="text-align: right;">※決算審査時の評価：「十分評価できる」 方向性：「継続」</p> <p><b>【当初予算への反映状況】</b></p> <p>令和4年度から予算の増額もあり、現在ブームとなっているサイクリスト向けの事業の展開を行政と事業者が一体となって誘客に力を入れており、さらなる事業の展開が見込まれる。</p> <p>新型コロナの規制緩和もあり、インバウンドを含めた東国水郷観光推進協議会の取り組みが、市内への観光客の誘客に向けてさらに期待できる。</p> <p><b>【調査結果】</b></p> <p>(総括)</p> <p>コロナ終息に伴うインバウンドの回復も期待され、また昨今のメディア露出の増加による、東国三社観光の人気、知名度も高まっており、特にJRのBBベース利用者の中、鹿島神宮駅での降車人数が多い状況やレンタサイクルが不足するなど、観光地としての高まりの様子が伺える。また今回、新たにサイクリングマップが完成し、今後自転車愛好家の来訪の更なる増加が予想されることから、コースの実態(冬に砂がたまる箇所、自動車が入り込む場所等)を調査し、安全対策、受け入れ体制の充実を図ることを望む。</p> <p>今後はDMOや東国水郷観光推進協議会との連携や、例えば観光看板設置等の環境整備を図り、他観光地への通過点ではなく、鹿嶋市での滞在時間が少しでも増えるようなPRや対策を講じていただきたい。</p>		